

グローバル・スペース株式ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第8期（決算日 2025年6月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）」は、2025年6月9日に第8期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年6月9日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）	「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・スペース株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・スペース株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL： www.amova-am.com

<645034>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ファクトセット・グローバル・ エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
4期(2023年6月7日)	8,571	0	13.9	137.78	9.3	98.6	21,835
5期(2023年12月7日)	9,106	0	6.2	162.45	17.9	98.4	19,493
6期(2024年6月7日)	9,935	0	9.1	211.30	30.1	98.5	17,830
7期(2024年12月9日)	10,083	2,300	24.6	218.44	3.4	95.2	14,624
8期(2025年6月9日)	10,547	0	4.6	270.41	23.8	98.4	16,999

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。主に1）商業航空宇宙機器製造、2）防衛航空宇宙機器製造、3）衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4）実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2025年6月9日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ファクトセット・グローバル・ エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2024年12月9日	10,083	—	218.44	—	95.2
12月末	10,744	6.6	226.14	3.5	97.8
2025年1月末	10,761	6.7	229.55	5.1	97.5
2月末	9,567	△5.1	227.27	4.0	97.5
3月末	9,051	△10.2	236.81	8.4	97.9
4月末	9,068	△10.1	234.05	7.1	98.0
5月末	10,123	0.4	262.73	20.3	97.6
(期 末)					
2025年6月9日	10,547	4.6	270.41	23.8	98.4

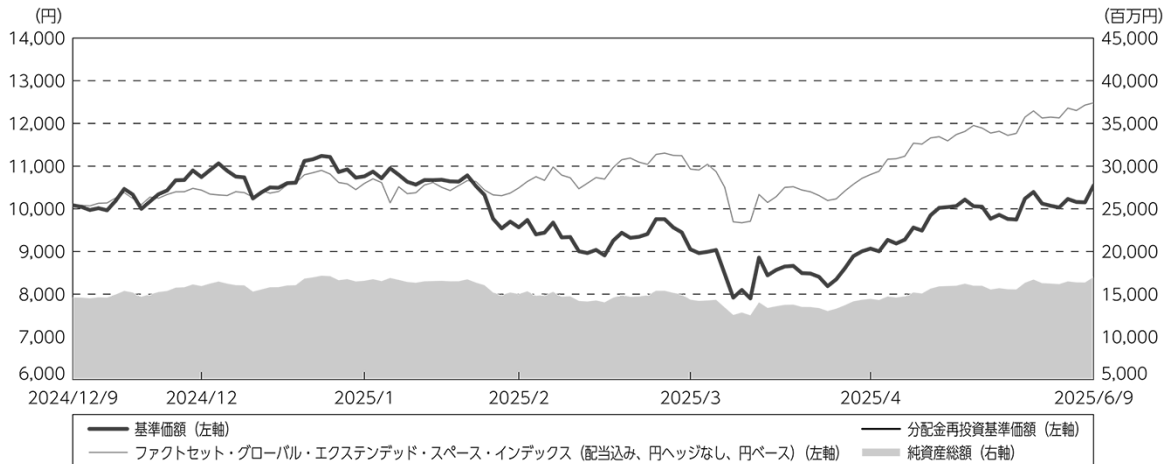
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年12月10日～2025年6月9日）

期中の基準価額等の推移



期 首：10,083円

期 末：10,547円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 4.6%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、期首（2024年12月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の宇宙探査への政治的な支持を受けて、宇宙関連株に対する市場の期待が高まったこと。
- ・eVTOL（電動垂直離着陸機）の世界的な認証・商業化が進展していること。
- ・人工知能（AI）が様々な業種に浸透し、普及が拡大したことを受けて、幅広い業種の企業が恩恵を受けたこと。

＜値下がり要因＞

- ・米国政権による関税政策の発表を受けて、株式市場が不安定になったこと。
- ・一部の保有銘柄で、企業収益が市場予想を下回るなど苦戦したこと。
- ・金利感応度の高い保有銘柄にとって逆風となる市場環境となったこと。

投資環境

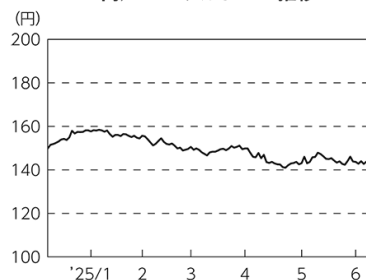
（株式市況）

期間中の世界の株式市場は、米国の大統領選挙を受けて規制緩和や税負担の軽減が予想されるなか、市場全体にとって概して好ましい環境が見込まれたことから上昇しました。しかし2025年に入ると、米国政権による追加関税の発表が市場全体の売りにつながり、中国の報復関税実施によって状況はさらに悪化しました。その後は複数の関税が再交渉あるいは一時停止されたことを受けて、市場は回復を見せました。

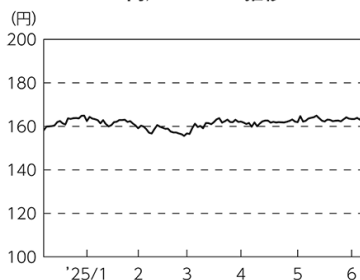
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

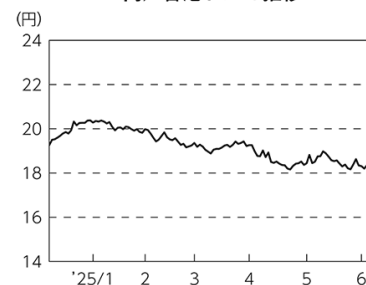
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／香港ドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル・スペース株式マザーファンド）

期間中の主な投資行動は下記の通りです。

当ファンドでは、Intuitive Machines（資本財）を新規に組み入れました。ロケット打ち上げコストの低下を受けて、宇宙への人や貨物の輸送需要が高まると期待されています。同社は、宇宙への輸送・貨物運搬サービスの提供や、宇宙での研究や活動を支援する月のインフラ開発などにより、そうしたトレンドの恩恵を享受していくことができる優位な立ち位置にあります。米国航空宇宙局（NASA）との契約を順調に実行していくことができれば、月に関するサービスの主要請負業者の地位を確立できるとみられます。これまでの契約の遂行状況はまちまちですが、NASAとの現行契約において着実に成果を達成することができれば、当ファンドによる確信度も高まっていくと期待されます。

また、BWXTテクノロジー（資本財）を新規に組み入れました。同社は、長年にわたり培ってきた原子力に関する専門性を活かし、深宇宙ミッションや月・火星の居住を支援するための先進的な宇宙用原子炉などの開発に取り組んでいます。米国防高等研究計画局（DARPA）の核熱エンジン開発プロジェクトや米国空軍の原子力宇宙船開発プロジェクトにおいて重要な役割を果たしており、将来の宇宙探査に不可欠な核熱推進および高出力な原子力エネルギーシステム関連の開発を手掛けています。宇宙事業は今日でもビジネスの一角を成しており、同社は成長分野として商業的な機会や分野にますます注力しています。

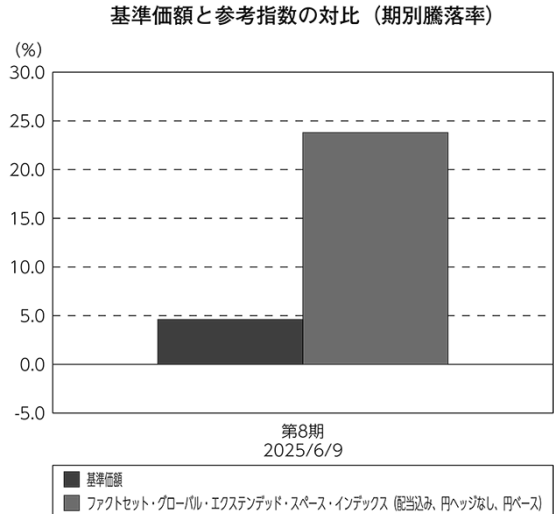
一方、ユーアイパス（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。AIエージェントの台頭による恩恵が期待されていましたが、売上の重要な要素である政府支出の鈍化や新たなエージェント戦略の遂行能力をめぐる不透明感などを受けて、より確信度の高い銘柄へと入れ替えるべく、保有を解消しました。

その他、3Dシステムズ（資本財）を全売却しました。現在3Dプリンティング業界は設備投資の低迷が続く環境下で逆風を受けており、この状況が現在の景気サイクルの後半まで続く可能性が高まっています。資本財・サービスセクターにおいて3Dプリンティング機器への大規模な投資に非常に慎重となっている足元の状況を踏まえて、当ファンドでは資金を他の分野にシフトさせており、経済環境が回復次第、再検討する予定です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 8 期
	2024年12月10日～ 2025年 6 月 9 日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	771

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・スペース株式マザーファンド）

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体かつ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底から覆されようとしています。ディープラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまでは増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2024年末時点で10,000基を超えています。

衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まることになるとみています。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年12月10日～2025年6月9日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	95	0.960	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(46)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(46)	(0.466)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.012)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(1)	(0.012)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	98	0.997	
期中の平均基準価額は、9,885円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

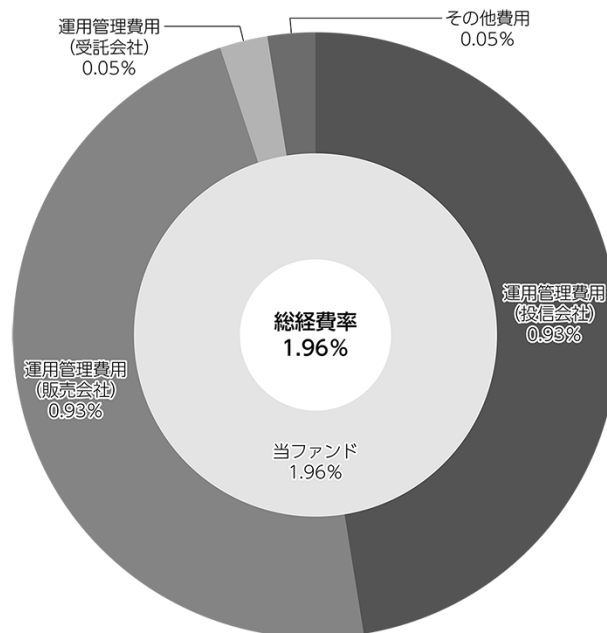
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・スペース株式マザーファンド	836,940	2,053,843	44,941	103,110

○株式売買比率

(2024年12月10日～2025年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・スペース株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,624,117千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,706,005千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・スペース株式マザーファンド	5,801,822	6,593,821	16,848,533

(注) 親投資信託の2025年6月9日現在の受益権総口数は、18,863,459千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・スペース株式マザーファンド	16,848,533	98.2
コール・ローン等、その他	309,898	1.8
投資信託財産総額	17,158,431	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・スペース株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（46,538,110千円）の投資信託財産総額（48,316,324千円）に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=144.90円、1ユーロ=165.11円、1香港ドル=18.46円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,158,431,910
コール・ローン等	309,894,464
グローバル・スペース株式マザーファンド(評価額)	16,848,533,310
未収利息	4,136
(B) 負債	158,604,707
未払解約金	7,257,445
未払信託報酬	147,002,232
その他未払費用	4,345,030
(C) 純資産総額(A－B)	16,999,827,203
元本	16,117,831,170
次期繰越損益金	881,996,033
(D) 受益権総口数	16,117,831,170口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,547円

(注) 当ファンドの期首元本額は14,503,771,422円、期中追加設定元本額は2,667,000,313円、期中一部解約元本額は1,052,940,565円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0547円です。

○損益の状況（2024年12月10日～2025年6月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	665,228
受取利息	665,228
(B) 有価証券売買損益	877,394,380
売買益	907,255,753
売買損	△ 29,861,373
(C) 信託報酬等	△ 149,245,299
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	728,814,309
(E) 前期繰越損益金	425,641,552
(F) 追加信託差損益金	△ 272,459,828
(配当等相当額)	(87,599,617)
(売買損益相当額)	(△ 360,059,445)
(G) 計(D＋E＋F)	881,996,033
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	881,996,033
追加信託差損益金	△ 272,459,828
(配当等相当額)	(88,778,479)
(売買損益相当額)	(△ 361,238,307)
分配準備積立金	1,154,455,861

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2024年12月10日～2025年6月9日の期間に当ファンドが負担した費用は45,170,453円です。

(注) 分配金の計算過程（2024年12月10日～2025年6月9日）は以下の通りです。

項 目	2024年12月10日～ 2025年6月9日
a. 配当等収益(経費控除後)	46,979,348円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	681,834,961円
c. 信託約款に定める収益調整金	88,778,479円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	425,641,552円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	1,243,234,340円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	771円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年12月10日から2025年6月9日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご注意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・スペース株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2025年6月9日）
（2024年6月8日～2025年6月9日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2018年8月13日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、宇宙関連ビジネスを行なう企業および宇宙関連ビジネスの恩恵を受ける企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638943>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ファクトセット・グローバル・ エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 率	(参 考 指 数)	期 騰 落 率		
	円	%		%	%	百万円
3 期(2021年 6 月 7 日)	18,233	48.7	119.84	28.0	99.6	30,516
4 期(2022年 6 月 7 日)	15,980	△12.4	142.85	19.2	99.5	60,083
5 期(2023年 6 月 7 日)	16,103	0.8	165.68	16.0	99.5	57,274
6 期(2024年 6 月 7 日)	19,052	18.3	254.08	53.4	99.3	48,079
7 期(2025年 6 月 9 日)	25,552	34.1	325.15	28.0	99.3	48,199

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。主に 1) 商業航空宇宙機器製造、2) 防衛航空宇宙機器製造、3) 衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4) 実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2025年 6 月 9 日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ファクトセット・グローバル・ エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株 組 入 比 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2024年 6 月 7 日	19,052	—	254.08	—	99.3
6 月末	19,310	1.4	256.22	0.8	99.2
7 月末	18,576	△ 2.5	252.04	△ 0.8	99.2
8 月末	17,865	△ 6.2	248.55	△ 2.2	99.6
9 月末	18,760	△ 1.5	246.79	△ 2.9	99.1
10 月末	20,483	7.5	266.84	5.0	99.3
11 月末	23,838	25.1	262.74	3.4	99.3
12 月末	25,826	35.6	271.93	7.0	99.1
2025年 1 月末	25,915	36.0	276.02	8.6	99.3
2 月末	23,035	20.9	273.28	7.6	99.2
3 月末	21,810	14.5	284.75	12.1	99.1
4 月末	21,888	14.9	281.43	10.8	99.2
5 月末	24,502	28.6	315.92	24.3	99.8
(期 末)					
2025年 6 月 9 日	25,552	34.1	325.15	28.0	99.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年6月8日～2025年6月9日)

基準価額の推移

期間の初め19,052円の基準価額は、期間末に25,552円となり、騰落率は+34.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

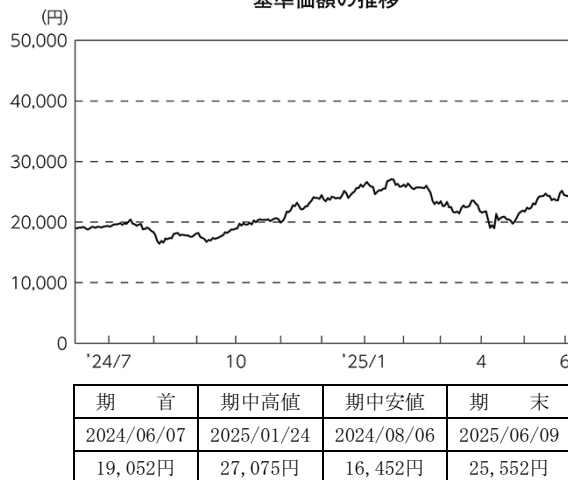
<値上がり要因>

- ・米国の宇宙探査への政治的な支持を受けて、宇宙関連株に対する市場の期待が高まったこと。
- ・人工知能（AI）が様々な業種に浸透し、普及が拡大したことを受けて、幅広い業種の企業が恩恵を受けたこと。

<値下がり要因>

- ・米国政権による関税政策の発表を受けて、株式市場が不安定になったこと。
- ・一部の保有銘柄で、企業収益が市場予想を下回るなど苦戦したこと。
- ・金利感应度の高い保有銘柄にとって逆風となる市場環境となったこと。

基準価額の推移



基準価額（指数化）の推移

ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス
(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)（指数化）の推移

(株式市況)

期間中の世界の株式市場は、ボラティリティ（変動性）が高まりました。2024年8月に、米国の経済指標が市場予想を下回ったことや為替市場で円が急上昇したことを受けて市場は乱高下し、高利回り投資に対する売り圧力が強まると下落しました。しかし、米国連邦準備制度理事会（FRB）が9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くと、株式市場はほぼ全域で上昇しました。その後も、ボラティリティが高まったものの、米国の大統領選挙を受けて規制緩和や税負担の軽減が予想されるなか、市場全体にとって好ましい環境が期待されたことから上昇しました。しかし2025年に入ると、米国の政権による追加関税の発表が市場全体の売りにつながり、中国の報復関税実施によって状況はさらに悪化しました。こうした困難な状況を受けて、期間中はディフェンシブセクターが相対的に善戦しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動は下記の通りです。

当ファンドでは、AIハードウェア市場の大部分を獲得していくとみているアドバンスド・マイクロ・デバイス（半導体・半導体製造装置）を新規に組み入れました。宇宙のテーマにおいて、AI技術の宇宙分野への活用が重要視されており、AIワークロードの拡大は重要な基幹技術であることから、加速するコンピューティングの供給を分散化できる同社の能力は不可欠といえます。当ファンドでは、航空宇宙や防衛ソリューションの両方を支える同社のデータセンターや最先端のコンピューター・アプリケーションを有望視しています。さらに、米国半導体メーカーの買収によって、現場で回路の書き換えが可能な集積回路であるFPGAの能力を高めており、この分野で大きく貢献していく体制を強化していると評価しています。

また、Intuitive Machines（資本財）を新規に組み入れました。ロケット打ち上げコストの低下を受けて、宇宙への人や貨物の輸送需要が高まると期待されています。同社は、宇宙への輸送・貨物運搬サービスの提供や、宇宙での研究や活動を支援する月のインフラ開発などにより、そうしたトレンドの恩恵を享受していくことができる優位な立ち位置にあります。米国航空宇宙局（NASA）との契約を順調に実行していくことができれば、月に関するサービスの主要請負業者の地位を確立できるとみられます。これまでの契約の遂行状況はまちまちですが、NASAとの現行契約において着実に成果を達成することができれば、当ファンドによる確信度も高まっていくと期待されます。

一方、ユーアイパス（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。AIエージェントの台頭による恩恵が

期待されていましたが、売上の重要な要素である政府支出の鈍化や新たなエージェント戦略の遂行能力をめぐる不透明感などを受けて、より確信度の高い銘柄へと入れ替えるべく、保有を解消しました。

その他、3Dシステムズ（資本財）を全売却しました。現在3Dプリンティング業界は設備投資の低迷が続く環境下で逆風を受けており、この状況が現在の景気サイクルの後半まで続く可能性が高まっています。資本財・サービスセクターにおいて3Dプリンティング機器への大規模な投資に非常に慎重となっている足元の状況を踏まえて、当ファンドでは資金を他の分野にシフトさせており、経済環境が回復次第、再検討する予定です。

○今後の運用方針

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体かつ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底から覆されようとしています。ディープラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまでは増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2024年末時点で10,000基を超えています。

衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まることになるとみています。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 6 月 8 日～2025年 6 月 9 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.041 (0.041)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.020 (0.020)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
合 計	13	0.063	
期中の平均基準価額は、21,817円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに
小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年 6 月 8 日～2025年 6 月 9 日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 18	千円 80,092	千株 139	千円 559,385
外国	アメリカ	百株 19,855 (△28,996)	千アメリカドル 72,304 (△ 107)	百株 74,086	千アメリカドル 147,860
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	1,174	538
	フランス	83	500	704	3,733
	オランダ	3	50	63	904
	香港	388	千香港ドル 540	7,270	千香港ドル 9,162

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年6月8日～2025年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	35,109,229千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,636,900千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月8日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年6月8日～2025年6月9日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		
	株 数	株 数	評 価 額
機械 (100.0%)	千株	千株	千円
小松製作所	496.8	375.4	1,681,041
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数	金 額
銘 柄 数 < 比 率 >	496	375	1,681,041
	1	1	< 3.5 % >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期末	期末		業種等
			評価額	外貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
3D SYSTEMS CORP	8,963	—	—	—	資本財
ARCHER AVIATION INC	29,683	21,638	22,049	3,194,926	資本財
BWX TECHNOLOGIES INC	—	258	3,348	485,173	資本財
DEERE & CO	179	153	7,957	1,153,028	資本財
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	840	817	19,964	2,892,916	資本財
HEICO CORP	210	159	4,850	702,847	資本財
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	221	168	3,844	557,122	資本財
LOCKHEED MARTIN CORP	202	120	5,789	838,958	資本財
MARKFORGED HOLDING CORP	35,272	—	—	—	資本財
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	2,344	1,708	21,825	3,162,542	ソフトウェア・サービス
JOBY AVIATION INC	13,330	11,955	9,707	1,406,638	運輸
TERADYNE INC	1,481	2,057	17,532	2,540,470	半導体・半導体製造装置
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	110	108	5,408	783,726	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
UIPATH INC - CLASS A	3,760	—	—	—	ソフトウェア・サービス
UNITY SOFTWARE INC	1,746	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	—	566	6,581	953,688	半導体・半導体製造装置
AEROVIRONMENT INC	1,460	1,146	21,879	3,170,301	資本財
AMAZON.COM INC	449	584	12,485	1,809,182	一般消費財・サービス流通・小売り
ANSYS INC	153	51	1,756	254,453	ソフトウェア・サービス
ELBIT SYSTEMS LTD	224	114	4,798	695,240	資本財
BLADE AIR MOBILITY INC	25,662	18,421	7,000	1,014,347	運輸
GARMIN LTD	494	245	5,099	738,952	耐久消費財・アパレル
ALPHABET INC-CL C	493	416	7,278	1,054,592	メディア・娯楽
INTUITIVE MACHINES INC	—	3,568	4,178	605,505	資本財
IRIDIUM COMMUNICATIONS INC	9,809	9,742	27,045	3,918,850	電気通信サービス
KRATOS DEFENSE & SECURITY	13,594	7,686	31,105	4,507,219	資本財
MATERIALISE NV-ADR	686	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ROCKET LAB CORP	21,665	9,277	26,829	3,887,659	資本財
SYNOPSYS INC	80	61	2,985	432,669	ソフトウェア・サービス
TRIMBLE INC	3,295	2,162	15,616	2,262,819	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	176,417	93,189	296,920	43,023,833
	銘柄数<比率>	27	25	—	<89.3%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
MYNARIC AGNAMENS AKTIEN O N	1,174	—	—	—	資本財
小計	株数・金額	1,174	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(ユーロ…フランス)					
DASSAULT SYSTEMES SE	2,104	1,582	5,117	844,968	ソフトウェア・サービス
THALES SA	405	305	8,001	1,321,107	資本財
小計	株数・金額	2,510	1,888	13,118	2,166,076
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.5%>
(ユーロ…オランダ)					
AIRBUS GROUP SE	248	187	3,099	511,807	資本財
小計	株数・金額	248	187	3,099	511,807
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.1%>
ユーロ計	株数・金額	3,933	2,075	16,218	2,677,883
	銘柄数<比率>	4	3	—	<5.6%>

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円
JD LOGISTICS INC		27,453	20,571	25,014	461,776
					運輸
小 計	株 数 ・ 金 額	27,453	20,571	25,014	461,776
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.0%>
合 計	株 数 ・ 金 額	207,804	115,836	—	46,163,493
	銘 柄 数 < 比 率 >	32	29	—	<95.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年 6 月 9 日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 47,844,534	% 99.0
コール・ローン等、その他	471,790	1.0
投資信託財産総額	48,316,324	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（46,538,110千円）の投資信託財産総額（48,316,324千円）に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=144.90円、1ユーロ=165.11円、1香港ドル=18.46円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	48,316,324,421
コール・ローン等	408,545,579
株式(評価額)	47,844,534,525
未収配当金	63,243,562
未収利息	755
(B) 負債	116,929,490
未払解約金	116,929,490
(C) 純資産総額(A－B)	48,199,394,931
元本	18,863,459,577
次期繰越損益金	29,335,935,354
(D) 受益権総口数	18,863,459,577口
1万口当たり基準価額(C／D)	25,552円

(注) 当ファンドの期首元本額は25,235,542,155円、期中追加設定元本額は1,185,490,954円、期中一部解約元本額は7,557,573,532円です。

(注) 2025年6月9日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型) 11,136,410,193円
- ・グローバル・スペース株式ファンド(年2回決算型) 6,593,821,740円
- ・グローバル・インベション株式ファンド(適格機関投資家向け) 1,033,399,635円
- ・グローバル・スペース株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型) 74,320,803円
- ・グローバル・スペース株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型) 25,507,206円

(注) 1口当たり純資産額は2,5552円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年6月8日～2025年6月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	310,497,200
受取配当金	298,177,938
受取利息	11,703,467
その他収益金	615,795
(B) 有価証券売買損益	12,912,790,452
売買益	18,597,891,397
売買損	△ 5,685,100,945
(C) 保管費用等	△ 8,926,931
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	13,214,360,721
(E) 前期繰越損益金	22,843,961,761
(F) 追加信託差損益金	1,737,126,987
(G) 解約差損益金	△ 8,459,514,115
(H) 計(D＋E＋F＋G)	29,335,935,354
次期繰越損益金(H)	29,335,935,354

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年6月8日から2025年6月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

- 当ファンドについて、2024年9月7日付けにて運用における参考指数の表記を「FactSet Global Extended Space Index（配当込、円ベース）」から「ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指数のデータ自体は従前のものから変更ございません。
- 日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご注意ください。